

## ボールパーク構想調査特別委員会（要点筆記）

令和8年1月19日（月）

午後1時30分 開議

### ○委員長（山本裕介）

ただいまからボールパーク構想調査特別委員会を開催します。

協議題1. 調査事項について、（1）県外視察の報告書についてを行います。

先般実施いたしました静岡県富士市および千葉県木更津市の行政視察について、委員の皆さまから提出いただいた報告書に基づき、補足説明と意見共有をお願いします。

### ○中村和也委員

視察を通じて、スポーツを入口として観光、産業、伝統文化などの地域資源へ繋げることで、経済効果や交流人口増といった副次的な効果が得られる可能性を強く感じました。

### ○伊藤正興委員

誰が主軸となり、いかに地域に考え方を浸透させるかが重要だと感じました。富士市と木更津市では取組の形が異なりますが、半田市に合ったベターな形を議会から提言すべきです。

### ○山田清一委員

スポーツ・観光・産業・健康が一体となった経済循環モデルの必要性を感じました。また、官民連携や専任人材の配置なしには持続可能性は難しく、知多半島全体での広域戦略も重要な視点だと感じました。

### ○芳金秀展委員

スポーツを市の重要施策として位置付けるのであれば、視察先のようにスポーツコミッションのような組織は不可欠になると考えます。

### ○榊原瑞輝委員

半田市の場合、スポーツコミッションを立ち上げる目的をより明確にする必要があると思います。また、持続可能な仕組づくりが不可欠だと感じました。

### ○竹内功治委員

富士市のようなワンストップの窓口対応が重要であると感じました。半田市の地域資源を活かしたスポーツ振興を考えるべきだと思います。

### ○澤田勝委員

20年、30年後の未来を作るためには、行政主体ではなく、官民の中間的な役割を果たす組織が必要だと感じました。木更津市のボランティア主体の運営は、継続性の面で半田市の参考にするにはハードルが高い印象でした。

### ○企画部長（大木康敬）

行政の視点からは、縦割りを排した組織構成が必要だと感じました。今後建設予定の「新体育館」が一つのきっかけになる可能性があります。運営を民間に任せるのか、行政が伴走するのか、他事例を含め検討が必要です。

○委員長（山本裕介）

視察した2市は特徴が異なり、比較できたことは有意義でした。富士市の「ワンストップ機能」は先行して導入を検討する価値があると感じました。

しばらく休憩し、意見交換を行います。

午後1時42分 休憩

午後2時05分 再開

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

休憩中の主な意見としては、次のとおりでした。

- ・市民が手軽に利用できる施設を重視するのか、外から人を呼び込む経済性を重視するのか、スタンスを明確にする必要がある。
- ・新体育館との連動については、現在検討されている新体育館の基本計画と、当委員会が考える「まちづくり」としての構想をどうリンクさせるかが鍵である。
- ・プロスポーツ等を優先して過大なアリーナを作るのではなく、維持管理費や稼働率を含めた現実的な議論が必要である。

他にご意見がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

次に、（2）文書照会についてを行います。

富士市での視察時に現地で回答が得られなかった事項について、文書回答がありました。回答書について、ご意見等がありましたらお願いします。

しばらく休憩します。

午後2時07分 休憩

午後2時12分 再開

○委員長（山本裕介）

会議を再開します。

富士市の運動公園全体の広大な施設を維持管理するための管理運営予算の内訳や、施設の使用料収入の扱いについて共有させていただきました。

他にご意見がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

次に（3）その他を行います。

本日本日いただきました意見を整理し、委員会報告の素案を正副委員長で作成します。次回の委員会までにご案内しますので、事前のご確認をお願いします。

本日の協議題は以上となりますが、その他で何かある方はいますか。

ないようですので、以上で、ボールパーク構想調査特別委員会を終わります。

午後2時15分 散会